

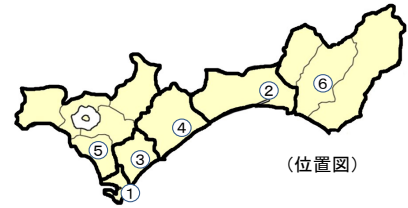
# いぶりの消防・防災

胆振の概況 2022

## ● 消防

胆振管内には6つの消防本部が常備消防として設置されており、消火活動はもとより、防火査察の実施や救急救助活動、自然災害に対する防衛活動等を通して、日夜、火災や災害から地域を守っています。

また、救急に対するニーズが高まっている中、救急業務の高度化への対応や救急救命士の養成等、救急体制の一層の充実に努めています。



(位置図)

### ◎胆振管内の消防本部

位置	消防本部名	住所	位置	消防本部名	住所
①	室蘭市消防本部	室蘭市東町2-28-7	④	白老町消防本部	白老郡白老町字石山20-24
②	苫小牧市消防本部	苫小牧市新開町2-12-7	⑤	西胆振行政事務組合消防本部	伊達市松ヶ枝町13-1
③	登別市消防本部	登別市中央町6-11	⑥	胆振東部消防組合消防本部	勇払郡厚真町錦町47-2

## ● 防災

胆振管内は平成30年北海道胆振東部地震により大きな被害を受けました。また、有珠山、樽前山、倶多楽の3つの常時観測火山に加え、噴火湾を挟んだ対岸の北海道駒ヶ岳（渡島管内）に関する警戒を要する等、近い将来火山災害発生の可能性が想定される地域です。その他、室蘭市、苫小牧市及び厚真町に所在する道内屈指の大規模石油コンビナート特別防災区域を抱え、さらには、近年大型化が顕著になっている台風や低気圧による局地的な豪雨への対応など、災害に備える万全の防災体制が求められています。

このため、各市町をはじめとする防災関係機関との緊密な連携のもと「安全で安心して暮らせる地域社会」を目指して、地域防災計画に基づき各種災害等に備えた対策を計画的かつ迅速に実施しています。

### ◎胆振管内の活火山 (道地域防災計画より)

区分	火山名	火山周辺市町村 (カッコ内は他管内)
常時観測火山	樽前山	苫小牧市、白老町、安平町、厚真町、むかわ町 (千歳市、恵庭市)
	有珠山	伊達市、洞爺湖町、壮瞥町、豊浦町
	倶多楽	登別市、白老町



振興局防災訓練 (風水害想定)

## ● 防災教育

北海道では、地域の防災リーダーとして活躍してもらう「地域防災マスター」の認定、町内会等で自発的に結成される「自主防災組織」の結成促進及び防災教育コンテンツを活用し、防災体制の充実強化に向けた取組を積極的に進めています。

「地域防災マスター」の認定及び育成については、直近で令和2年10月に苫小牧市で研修会を開催し、合計28名を新たな「地域防災マスター」に認定しました (令和5年2月に室蘭市で認定研修会を開催予定)。

また、避難所運営ゲーム北海道版 (Doはぐ) の知識を十分に得た人材の育成を目的に、令和4年10月に苫小牧市で研修会を開催し、合計29名をDoはぐマスターとして認定しました。

なお、管内における自主的な防災組織による活動カバー率 (全世帯数のうち、自主防災組織の活動範囲に含まれている地域の世帯数の割合) は、令和3年4月現在で77.3%となっており、増加傾向が続いています。

### ◎胆振管内の地域防災マスター認定者数

市町名	人数	市町名	人数	市町名	人数	市町名	人数
室蘭市	48	伊達市	32	白老町	69	安平町	17
苫小牧市	134	豊浦町	12	厚真町	51	むかわ町	96
登別市	18	壮瞥町	5	洞爺湖町	45		

(令和3年5月現在)

### ◎Doはぐ講師養成研修会の様子



### ◎自主防災組織活動カバー率

	H31	R02	R03
全道	60.5%	61.4%	64.0%
胆振	71.7%	73.0%	77.3%

### ◎胆振管内の自主防災組織活動カバー率内訳 (令和3年4月)

市町村	R03	市町村	R03	市町村	R03	市町村	R03
室蘭市	71.7%	伊達市	67.5%	白老町	68.4%	安平町	57.2%
苫小牧市	94.4%	豊浦町	53.4%	厚真町	46.2%	むかわ町	55.4%
登別市	67.5%	壮瞥町	11.6%	洞爺湖町	47.9%		